



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東
コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理部長 (氏名)松尾 勇治 (TEL) 075(463)8111
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,364	7.7	△127	—	△83	—	△134	—
2022年3月期第3四半期	4,053	△9.7	△139	—	△106	—	△112	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 381百万円(338.7%) 2022年3月期第3四半期 86百万円(△64.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△97.38	—
2022年3月期第3四半期	△81.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	11,243	9,755	79.7
2022年3月期	10,775	9,445	80.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 8,956百万円 2022年3月期 8,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,685	5.0	△189	—	△143	—	△182	—	△132.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	1,468,093株	2022年3月期	1,468,093株
2023年3月期3Q	91,425株	2022年3月期	91,425株
2023年3月期3Q	1,376,668株	2022年3月期3Q	1,376,668株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8
(収益認識関係)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染者の減少に伴う国内の行動制限緩和や訪日外国人の入国にかかる制限の緩和に伴い、様々な経済活動の回復が見られましたが、国際情勢等に起因する原材料やエネルギー価格の上昇や円安基調が国内の諸物価の上昇を招くなど、引き続き先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループが関連するアパレル・ファッション業界は、まだら模様ながら衣料品の消費の回復に伴い、日本向け衣料品の生産は回復傾向が続きましたが、手芸関連業界は、いわゆる巣ごもり消費からお出かけ消費への変化や諸物価上昇の影響も受けて低調に推移しました。

当社グループにおきましては、第2四半期連結累計期間までの経営状況に加えて、当第3四半期以降の販売価格の改正に伴う影響や、引き続き為替換算レート変動に伴う影響など、売上高の増減の要因が加わり、当3四半期連結累計期間の売上高は、4,364百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

しかしながら利益面は、原材料・エネルギー価格のさらなる上昇や販売品目構成の変化などで売上高総利益率が低下したため、回復が遅れ、営業損失は127百万円（前年同期は139百万円の損失）、経常損失は83百万円（前年同期は106百万円の損失）となりました。

また、2022年11月10日に「特別損失の計上及び連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示した通り、中国・上海地域のロックダウンによるおよそ2ヶ月間にわたる中国子会社4社の操業停止期間の固定費80百万円を特別損失に計上したため、親会社株主に帰属する四半期純損失は134百万円（前年同期は112百万円の損失）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は次のとおりです。

日本

当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間は、当社の2022年4月から12月まで、国内子会社の2022年2月から10月までの業績が連結されております。

第2四半期連結累計期間には、中国・上海地域のロックダウンによる中国子会社の2ヶ月にわたる操業停止により、国内においても販売機会損失を余儀なくされましたが、第3四半期以降は、国際情勢に起因した資源価格の高騰、急激な円安の進行や諸物価の上昇などによる先行きの不透明感が高まりながらも、衣料品消費は回復傾向が続き、その生産の増加に伴って衣料用縫い糸の受注は回復傾向となりました。

また、一方で、いわゆる巣ごもり消費からお出かけ消費への変化や諸物価上昇の影響も受けつつある家庭用縫い糸や、自動車生産台数の回復が遅れている車輦内装用縫い糸は、当第3四半期も受注の回復が見られませんでした。

これらに、第3四半期以降の販売価格改正に伴う影響など、売上高増減の要素が加わり、当セグメントの売上高は、3,430百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

一方利益面につきましては、増収には転じているものの、原材料やエネルギーコストを始め、製造コスト全般のさらなる上昇や、販売品目構成の変化による売上高総利益率の低下が響いて、セグメント損失は106百万円（前年同期は133百万円の損失）と、回復が遅れております。

アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第3四半期連結累計期間は、2022年1月から9月までの業績が連結されております。

当期間におきましては、2022年3月末以降およそ2ヶ月にわたる中国・上海地域のロックダウンに伴う中国子会社の操業停止により、中国や日本のみならず、当セグメントに属するベトナム、タイの各子会社においても販売機会損失を余儀なくされましたが、ロックダウンの解除後は、日本向け衣料品用縫い糸の受注回復や、今後のリスク回避のための在庫備蓄生産などもあって、中国生産子会社はフル操業の状況が続きました。また為替換算レート変動の影響もあって、当セグメントの売上高は、933百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

しかしながら、利益面につきましては、上述の通り、中国子会社4社の操業停止期間の固定費を特別損失として計上しましたが、第2四半期連結会計期間に続き、原材料、エネルギー価格、輸送費等の高止まりや、販売価格への転嫁が困難なアジア市場の状況もあって、セグメント損失は20百万円（前年同期は9百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて467百万円増加し、11,243百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加112百万円、受取手形及び売掛金の増加142百万円、投資有価証券の増加197百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて157百万円増加し、1,487百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加92百万円、その他(固定負債)の増加51百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて309百万円増加し、9,755百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少203百万円があったものの、その他有価証券評価差額金の増加136百万円、為替換算調整勘定の増加317百万円などがありました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における事業環境の変化を勘案し、2022年11月10日に公表しました2023年3月期の連結業績予想を修正しております。詳しくは本日別途公表しました、「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,746,675	2,859,669
受取手形及び売掛金	1,045,341	1,187,673
電子記録債権	204,312	258,764
棚卸資産	2,699,857	2,617,739
その他	61,665	55,125
貸倒引当金	△8,527	△3,236
流動資産合計	6,749,324	6,975,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,962,583	1,962,707
その他(純額)	688,346	705,284
有形固定資産合計	2,650,929	2,667,991
無形固定資産		
その他	202,500	222,272
無形固定資産合計	202,500	222,272
投資その他の資産		
投資有価証券	884,713	1,082,562
その他	296,193	302,745
貸倒引当金	△7,850	△7,806
投資その他の資産合計	1,173,055	1,377,501
固定資産合計	4,026,485	4,267,765
資産合計	10,775,810	11,243,500
負債の部		
流動負債		
買掛金	345,382	437,736
未払法人税等	9,352	12,718
賞与引当金	48,236	23,020
その他	185,375	219,346
流動負債合計	588,347	692,822
固定負債		
役員退職慰労引当金	219,806	222,067
退職給付に係る負債	50,277	49,690
資産除去債務	32,788	32,788
その他	438,782	490,330
固定負債合計	741,654	794,877
負債合計	1,330,001	1,487,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	771,087	771,087
利益剰余金	6,315,211	6,111,799
自己株式	△109,313	△109,313
株主資本合計	7,900,310	7,696,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,385	403,649
為替換算調整勘定	531,836	849,447
退職給付に係る調整累計額	△1,073	6,133
その他の包括利益累計額合計	798,149	1,259,230
非支配株主持分	747,348	799,671
純資産合計	9,445,808	9,755,801
負債純資産合計	10,775,810	11,243,500

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,053,261	4,364,867
売上原価	3,032,206	3,327,667
売上総利益	1,021,055	1,037,200
販売費及び一般管理費	1,160,789	1,164,308
営業損失(△)	△139,734	△127,108
営業外収益		
受取利息	6,136	6,507
受取配当金	28,327	33,253
賃貸料収入	18,244	17,989
その他	14,672	17,637
営業外収益合計	67,381	75,386
営業外費用		
支払利息	53	—
賃貸料収入原価	8,041	7,704
為替差損	14,519	19,824
その他	11,670	4,231
営業外費用合計	34,285	31,760
経常損失(△)	△106,638	△83,482
特別利益		
固定資産売却益	—	553
特別利益合計	—	553
特別損失		
固定資産売却損	—	767
固定資産除却損	82	—
新型コロナウイルス関連損失	—	80,247
特別損失合計	82	81,015
税金等調整前四半期純損失(△)	△106,721	△163,944
法人税、住民税及び事業税	19,892	20,367
法人税等調整額	△4,938	△13,665
法人税等合計	14,953	6,702
四半期純損失(△)	△121,674	△170,646
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,928	△36,592
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△112,745	△134,054

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△121,674	△170,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36,556	136,263
為替換算調整勘定	241,582	408,242
退職給付に係る調整額	3,515	7,206
その他の包括利益合計	208,541	551,713
四半期包括利益	86,867	381,066
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,071	327,027
非支配株主に係る四半期包括利益	46,795	54,039

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書において注記した仮定に関して、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,209,460	843,801	4,053,261	—	4,053,261
外部顧客への売上高	3,209,460	843,801	4,053,261	—	4,053,261
セグメント間の内部売上高 又は振替高	145,603	343,813	489,417	△489,417	—
計	3,355,063	1,187,614	4,542,678	△489,417	4,053,261
セグメント損失(△)	△133,454	△9,628	△143,082	3,348	△139,734

(注) 1. セグメント損失の調整額3,348千円は、セグメント間取引消去によるものです。
2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,430,934	933,933	4,364,867	—	4,364,867
外部顧客への売上高	3,430,934	933,933	4,364,867	—	4,364,867
セグメント間の内部売上高 又は振替高	221,729	331,286	553,015	△553,015	—
計	3,652,663	1,265,219	4,917,883	△553,015	4,364,867
セグメント損失(△)	△106,790	△20,585	△127,375	267	△127,108

(注) 1. セグメント損失の調整額267千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。